



平成 26 年 11 月 7 日

各 位

会社名 ヒラキ株式会社  
代表者名 代表取締役 向畑達也  
(コード番号 3059 東証第二部)  
問合せ先 取締役経営戦略室長  
姫尾房寿  
(TEL 078-967-4601)

## 業績予想と実績の差異および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 9 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日) の第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたしますとともに、同期間の実績の反映および最近の業績の動向を踏まえ、通期業期予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想数値と実績の差異

(1) 平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績の差異 (単位：百万円)

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	9,700	250	200	110	22 円 39 銭
実績 (B)	8,644	167	80	40	8 円 36 銭
増減額 (B-A)	△1,056	△83	△120	△70	—
増減率 (%)	△10.9	△33.0	△59.8	△62.9	—
(ご参考) 前期第 2 四半期 実績	9,625	236	264	160	32 円 97 銭

#### (2) 差異の理由

前回発表予想では、ディスカウント事業・通信販売事業において、売上高は消費税率増税の駆け込み需要の反動減を一定程度は織り込んでおりましたが、衣料・雑貨・食料品を主にその影響は予測よりも長引いた他、夏場の天候不順ならびに消費者の日常消費の節約志向等が重なり計画を下回りました。

利益面では、ディスカウント事業での仕入強化策や自社開発商品の拡販等により粗利益率の改善は更に進みましたが、両部門における売上高減少の影響により、営業利益・経常利益・純利益において差異が発生しました。

## 2. 連結業績予想数値の修正

### (1) 平成27年3月期通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	20,000	700	600	330	67円39銭
今回修正予想 (B)	19,000	500	400	200	40円98銭
増減額 (B-A)	△1,000	△200	△200	△130	—
増減率 (%)	△5.0	△28.6	△33.3	△39.4	—
(ご参考) 前期実績	19,993	775	793	391	80円23銭

### (2) 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における実績および下期予想を考慮し、上記の通り修正いたします。

売上高は、通信販売事業において、より訴求力ある商品の投入に加えテレビCMの放映、カタログ無料設置の拡大等の販売促進策強化により、上期を上回る売上を確保する見込みですが、当期上期の売上高減少を賄うまでに至らない見込みです。

利益面については、今年度下期は各事業において粗利益率の高い自社開発商品の一層の拡販、新規仕入先の開拓による商品原価の低減及び販売管理費のコスト削減を図ることにより、上期を上回る利益を確保する見込みですが、当期上期の利益減少を賄うまでに至らず上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上